

令和５年度進行管理・評価シート
萩市歴史的風致維持向上計画（第２期）（平成３１年３月２６日認定）

□進捗評価シート(様式１)

①組織体制(様式１－１)	
１ 計画の実施体制の一元化 市民団体との協働	２
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式１－２)	
１ 歴史的町並みと調和した良好な景観の形成	３
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式１－３)	
１ 萩時代まつり支援事業	４
２ 萩夏まつり支援事業	５
３ 萩の和船大競漕「おしくらごう」支援事業	６
４ 浜崎伝建おたから博物館支援事業	７
５ ワンコイントラスト(百円信託)運動	８
６ 萩検定・子どもものしり博士検定支援事業	９
７ 萩・万灯会	１０
８ 萩・大茶会支援事業	１１
９ 萩ものがたり出版支援事業	１２
１０ 萩焼まつり支援事業	１３
１１ 語り部活用事業	１４
１２ 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業	１５
１３ 地域コミュニティ組織づくり事業	１６
１４ 萩・夏みかんまつり支援事業	１７
１５ 萩反射炉保存修理事業	１８
１６ 恵美須ヶ鼻造船所跡保存整備事業	１９
１７ 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	２０
１８ 萩城跡保存修理事業	２１
１９ 文化財保護修理事業	２２
２０ 弘法寺堀内線他無電柱化事業	２３
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式１－４)	
１ 文化財の保存・修理等に関する事項	２４
２ 文化財の普及・啓発等に関する事項	２５
３ 文化財施設等の活用に関する事項	２６
⑤効果・影響等に関する報道(様式１－５)	２７
⑥その他(効果等)(様式１－６)	２８

□法定協議会等におけるコメントシート(様式２)	２９
--------------------------------	----

計画に記載している内容	計画に定める事業等の実施及び計画変更については、市政全般の調整を行う総合政策部との連携のもと、商工観光部が中心となって行い、「NPO萩まちじゅう博物館」、「浜崎しっちゃん会」、「NPO萩観光ガイド協会」などの民間団体等との協働により計画を推進していく。
-------------	--

NPO萩まちじゅう博物館会員数 192人、NPO萩観光ガイド協会会員数 87人
 浜崎しつちる会会員数 63人、萩往還佐々並どうしんてやろう会会員数116人
 (令和6年3月末現在)

状況を示す写真や資料等

○令和5年度の推進体制



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
歴史的町並みと調和した良好な景観の形成		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	

計画に記載している内容 地区や地域を定めて指定している文化財の周辺部の環境を保全するために、新築等に際しては、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市の都市計画用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定により規制誘導を行い良好な景観を確保するとともに、地区や地域の指定拡大や追加に努める。歴史的価値が特に高い建造物の周辺には緩衝地帯を設け、周辺環境の保全に努める。

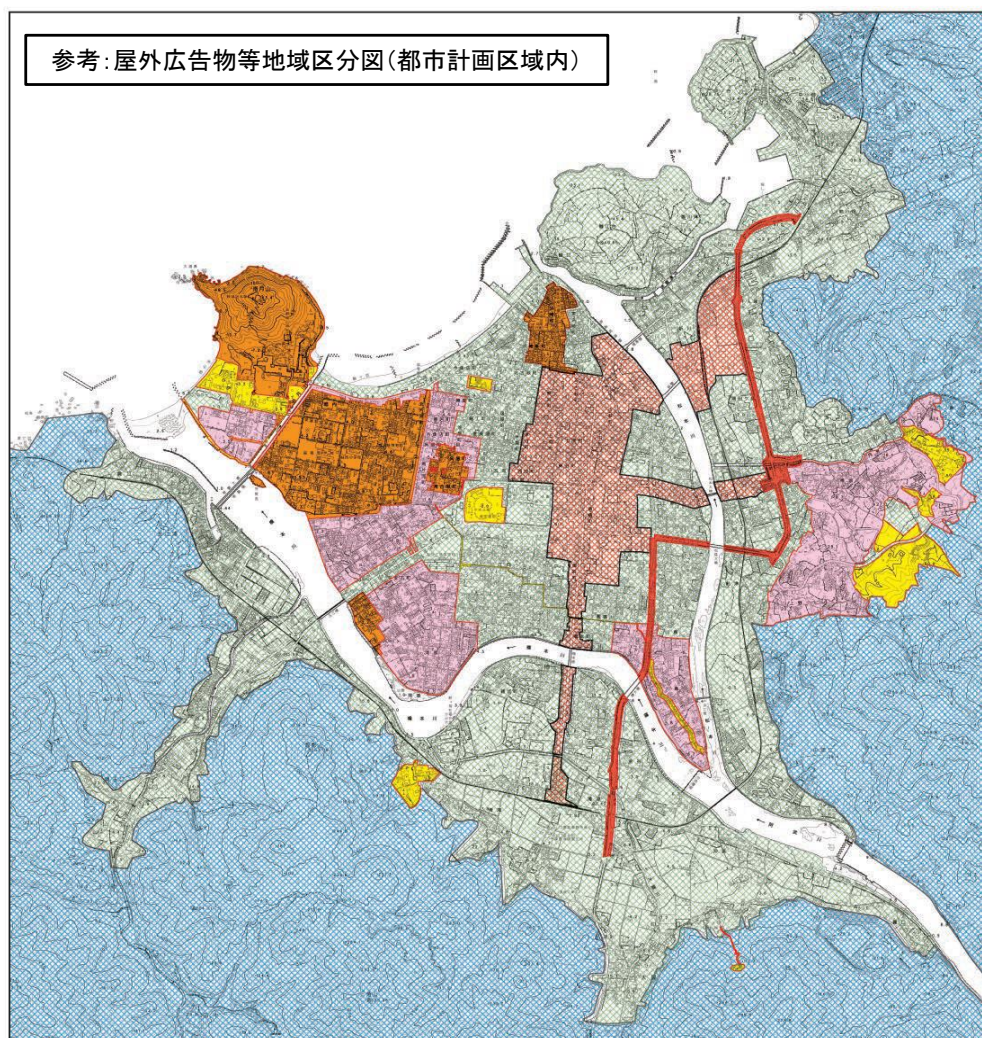
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域は、歴史的風致を色濃く残す萩市の中心市街地と重なる。現在、都市計画法に基づき、地域の歴史的特性に合った土地利用が図られるよう適切な用途地域の指定を行っている。また、景観法に基づき平成19年12月に運用を始めた萩市景観計画では、重点的に景観の形成及び保全を図る地域である重点景観計画区域の多くを重点区域内において指定し、地域の特性に応じて詳細な景観形成基準を定め、建築物の高さを制限するほか、良好な景観形成のための指導等を行っている。さらに、萩市屋外広告物等に関する条例では、重点景観計画区域については自家用広告物以外の広告物の掲出を原則禁止する禁止地域に指定するなど強い制限をかけ、屋外広告物掲出の誘導を行っている。このような施策を住民の理解を得ながら行っており、歴史的風致の維持及び向上に努めている。

○令和5年度 萩市景観計画区域内行為届受理件数 75件(令和6年3月末現在)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	景観計画や屋外広告物等に関する条例による規制の理解を得ることに苦慮することがあるが、萩市の景観に対する取り組みを十分に説明し理解していただいたうえで、基準に適合させた建築物・工作物等の新築等を行っていただくこととしている。

状況を示す写真や資料等



禁止地域		許可地域	
	第1種禁止地域		第1種許可地域
	第2種禁止地域		第2種許可地域
	第3種禁止地域		第3種許可地域
	第4種禁止地域		

※第3種許可地域は都市計画区域外を含む

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和5年度		評価対象年度
現在の状況		項目
☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手		萩時代まつり支援事業
事業期間 平成7年度～		
支援事業名 萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩時代まつりは、藩政時代を起源とする天神祭を核に行われる。毛利の伝統を受け継ぐ2つの奉納行列のほか、町内会による唐樋御神幣、川島聖講などが、萩市内を練り歩き、金谷神社に奉納される。舞台となる萩の町並みがまつりを盛り上げることににより、萩市の歴史的風致の維持向上につながる。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
開催日時 令和5年11月12日(日)8時～16時 入込数 30,000人		
今年の奉納行列は「平安古備組」「古萩町大名行列」が参加した。 大名行列は例年通り金谷神社への奉納を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		担い手の確保が課題であり、外部人材などの活用も検討していく必要がある。
状況を示す写真や資料等		

状況を示す写真や資料等



「草履舞」の様子



平安古備組「手廻り備え行列」



川島聖講



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
萩夏まつり支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和38年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	藩政時代から続く、萩市浜崎伝統的建造物群保存地区に位置する住吉神社の祭りに併せて行う。祭りの核となるのが、萩藩の御座船唄であり、山口県無形民俗文化財に指定されている「お船謡」の奉納や「住吉神輿」の奉納である。藩政時代から今に継承される伝統行事を次世代に受け継ぐことにより、萩市の歴史的風致の維持向上に繋がる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日	令和5年8月1日(火)・3日(木)		
開催場所	萩市内各所		
◆萩夏まつり主なスケジュール ○8月1日(火)「萩・花火大会2023」規模を縮小し開催 ○8月2日(水)「市民総踊り(ヨイショコショ、トコトンヤレ節)」中止 ○8月3日(木)「お船謡、住吉御輿、踊り車」			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	コロナウイルス感染拡大防止策、担い手の確保が課題であり、外部人材などの活用も検討していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

「お船謡」の様子



「住吉神輿」の様子



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
萩の和船大競漕「おしくらごう」支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	藩政時代より受け継がれる「おしくらごう」と呼ばれる和船競漕は、玉江浦地区厳島神社の例祭に合わせて行われる。伝統文化を継承していくことにより、歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	令和5年6月4日(日)8時30分～13時		
開催場所	萩市橋本川下流		
入込数	1,500人		
「おしくらごう」は、以前は、海上で行われていたが、近年は橋本川下流に場所をかえ、多くの市民や観光客が観覧できるようになった。ねじりはちまき・下帯姿の若者たちが和船に乗り込み、掛け声をあわせて櫂を漕ぎ、銀色の波しぶきをあげ、往時を偲ばせる白熱したレースを繰り広げた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		担い手の確保が課題であり、外部人材などの活用も検討していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			

「おしくらごう」の様子



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
浜崎伝建おたから博物館支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成10年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	江戸時代並びに明治、大正及び昭和初期の伝統的建造物が約130棟残る萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区を舞台に、家々に伝わる「おたから」を歴史的な建物内で展示・公開するとともに、萩の特産品販売なども行う。本事業を通じて歴史景観に対する意識の高揚を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	令和5年5月21日(日)9時～15時		
開催場所	萩市浜崎重要伝統的建造物群保存地区 入込数 12,000人		
浜崎地区のおたからを広く情報発信するため、地元の「浜崎しっちゃん会」を中心に各種催事が行われている。今回は家々に伝わるおたからの展示、伝建地区スタンプラリー、国指定史跡旧萩藩御船倉でのイベント、古民家内での山口大学マンドリンクラブによる演奏等が行われた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		おたからの保存・活用が課題であり、イベント時のみならず、常時おたからを活用できる仕組みが必要。	
状況を示す写真や資料等			

「浜崎伝建おたから博物館」の様子



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
ワンコイントラスト(百円信託)運動		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成17年度～	
支援事業名	萩市単独事業	
計画に記載している内容	萩に残る未指定の文化遺産を保存、活用、継承するため、市内の文化財施設などにトラストボックス(寄付金箱)を設置し、ワンコイン(100円)のトラスト(信託)を求める。財政支援を得にくい未指定の文化遺産の保存を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
トラストボックス設置箇所 12箇所 ①道の駅「萩しーまーと」 ②萩博物館 ③道の駅萩往還内「松陰記念館」 ④旧山村家住宅 ⑤渡辺蒿蔵旧宅 ⑥有備館 ⑦玉木文之進旧宅 ⑧萩・明倫学舎 ⑨旧小林家住宅(萩往還おもてなし茶屋) ⑩「道の駅」ゆとりパークたまがわ⑪いかマルシェ ⑫つわぶきの館 トラスト金額 累計32,519,777円 (令和6年3月31日現在)		
本年度は、第11号物件と第12号物件の2件の物件に対し、助成を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	今後、民間施設等へ募金箱設置の検討を行う。	

状況を示す写真や資料等

今までに修復などを行った萩の宝物

第1号 井上勝旧宅門

修復後



名 称：井上勝(鉄道の父)旧宅門
 物件の公開：萩市土庫、200-1
 修復年月：平成18年4月

第2号 猿田彦面山車

修復後



名 称：猿田彦面山車
 物件の公開：住吉神社のお祭り
 で一般公開
 修復年月：平成18年10月

第3号 平安古備組道具類

修復後



名 称：平安古備組道具類
 ※十文字様や部目付様など10点
 物件の公開：萩時代まつりや萩博物館で
 一般公開
 修復年月：平成19年7月

第10号 井上勝志気像

銅像建立

名 称：井上勝志気像
 物件の公開：萩駅前にて
 常時公開
 建立年月：平成28年10月



第4号 御網代車

修復後



名 称：御網代車
 物件の公開：毎年11月に行われる金谷天満宮祭礼の御神幸
 神事で一般公開
 修復年月：平成20年10月

第5号 長州砲

英国より里帰り
を再現

名 称：長州砲(萩野法一貫目青銅砲)
 物件の公開：萩博物館で期間限定公開
 重 量：約20トン
 修復年月：平成20年6月から平成21年5月末日まで

第6号 伊藤博文公先祖の墓碑

修復後



名 称：伊藤博文公先祖の墓碑
 物件の公開：萩市中央公園
 にて常時公開
 修復年月：平成21年9月

第11号 平安古備組道具類

銅像建立

名 称：平安古備組道具類
 物件の公開：萩時代まつりや萩博物館で
 一般公開
 修復年月：令和5年10月



第7号 高杉晋作立志像

銅像建立



名 称：高杉晋作立志像
 物件の公開：安芸萩城城下町
 にて常時公開
 建立年月：平成22年10月

第8号 奇兵隊隊服

奇兵隊隊服を再現



名 称：奇兵隊隊服
 物件の公開：萩時代まつりや
 萩博物館で一般公開
 完成披露：平成23年6月

第9号 久坂玄瑞進撃像

銅像建立



名 称：久坂玄瑞進撃像
 物件の公開：萩市中央公園
 にて常時公開
 建立年月：平成27年1月

第12号 金谷神社土塀

銅像建立

名 称：金谷神社土塀
 物件の公開：常時公開
 修復年月：令和6年1月



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度																																																																																																																																								
項目		現在の状況																																																																																																																																									
萩検定・子どもものしり博士検定支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																																																																																																																																									
事業期間	平成17年度～ ※「萩検定」は旧「萩ものしり博士検定」をリニューアルし、令和元年度から開始																																																																																																																																										
支援事業名	萩市単独事業																																																																																																																																										
計画に記載している内容	萩検定では、萩の歴史、文化、自然にまつわるストーリーをクイズ形式で学ぶことのできるテキストを題材に試験を実施している。市民や観光客の参加により、萩市の歴史的風致を広く発信している。																																																																																																																																										
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																																																																																																																																											
開催日時	①萩検定 ・初級 開催期間: 通年 内容: 自然・文化・歴史・幕末維新の4科目で実施。自宅等でパソコン等を利用してインターネットで受検可。テキストより各科目50問出題 択一式 45問以上正解で合格 ・中上級 開催日: 令和5年12月3日(日) 内容: 自然・文化・歴史・幕末維新の4科目で実施。 テキストより各科目50問出題 択一式・記述式 45問以上正解で合格 開催場所: 萩市総合福祉センター 萩検定は平成17年度より実施している旧「萩ものしり博士検定」をリニューアルし、初級は自宅等でパソコン等を利用してインターネットで受検を可能とした。平成20年度から開催している「子どもものしり博士検定」については、平成24年度から市内の小学生は、各学校で受検する方式に変更している。																																																																																																																																										
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																																																																																																																									
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	受検をきっかけとした、まちじゅう博物館活動の活性化や交流人口の拡大が課題。																																																																																																																																										
状況を示す写真や資料等																																																																																																																																											
■旧萩ものしり博士検定、萩検定 受検者・合格者 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">旧萩ものしり博士検定修士課程・萩検定初級</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>申込者数</th> <th>受検者数</th> <th>合格者数</th> <th>合格率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>48人</td><td>42人</td><td>35人</td><td>83.3%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>54人</td><td>46人</td><td>41人</td><td>89.1%</td></tr> <tr><td>R元</td><td>863人</td><td>863人</td><td>618人</td><td>71.6%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>469人</td><td>469人</td><td>209人</td><td>44.6%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>643人</td><td>643人</td><td>246人</td><td>38.3%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>430人</td><td>430人</td><td>171人</td><td>39.8%</td></tr> <tr><td>R5</td><td>744人</td><td>744人</td><td>294人</td><td>39.5%</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">旧萩ものしり博士検定博士課程・萩検定中級</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>申込者数</th> <th>受検者数</th> <th>合格者数</th> <th>合格率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>27人</td><td>24人</td><td>8人</td><td>33.3%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>37人</td><td>33人</td><td>6人</td><td>18.2%</td></tr> <tr><td>R元</td><td>183人</td><td>169人</td><td>140人</td><td>82.8%</td></tr> <tr><td>R2</td><td>86人</td><td>77人</td><td>47人</td><td>61.0%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>67人</td><td>61人</td><td>43人</td><td>70.5%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>51人</td><td>48人</td><td>35人</td><td>72.9%</td></tr> <tr><td>R5</td><td>43人</td><td>39人</td><td>33人</td><td>84.6%</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">萩検定上級</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>申込者数</th> <th>受検者数</th> <th>合格者数</th> <th>合格率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R2</td><td>83人</td><td>80人</td><td>30人</td><td>37.5%</td></tr> <tr><td>R3</td><td>54人</td><td>48人</td><td>16人</td><td>33.3%</td></tr> <tr><td>R4</td><td>55人</td><td>51人</td><td>10人</td><td>19.6%</td></tr> <tr><td>R5</td><td>47人</td><td>46人</td><td>12人</td><td>26.1%</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">子どもものしり博士 (市内各小学校で受検)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>368人</td></tr> <tr><td>H30</td><td>355人</td></tr> <tr><td>R元</td><td>361人</td></tr> <tr><td>R2</td><td>コロナのため中止</td></tr> <tr><td>R3</td><td>549人</td></tr> <tr><td>R4</td><td>278人</td></tr> <tr><td>R5</td><td>264人</td></tr> </tbody> </table>				旧萩ものしり博士検定修士課程・萩検定初級					年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	H29	48人	42人	35人	83.3%	H30	54人	46人	41人	89.1%	R元	863人	863人	618人	71.6%	R2	469人	469人	209人	44.6%	R3	643人	643人	246人	38.3%	R4	430人	430人	171人	39.8%	R5	744人	744人	294人	39.5%	旧萩ものしり博士検定博士課程・萩検定中級					年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	H29	27人	24人	8人	33.3%	H30	37人	33人	6人	18.2%	R元	183人	169人	140人	82.8%	R2	86人	77人	47人	61.0%	R3	67人	61人	43人	70.5%	R4	51人	48人	35人	72.9%	R5	43人	39人	33人	84.6%	萩検定上級					年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	R2	83人	80人	30人	37.5%	R3	54人	48人	16人	33.3%	R4	55人	51人	10人	19.6%	R5	47人	46人	12人	26.1%	子どもものしり博士 (市内各小学校で受検)		H29	368人	H30	355人	R元	361人	R2	コロナのため中止	R3	549人	R4	278人	R5	264人
旧萩ものしり博士検定修士課程・萩検定初級																																																																																																																																											
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率																																																																																																																																							
H29	48人	42人	35人	83.3%																																																																																																																																							
H30	54人	46人	41人	89.1%																																																																																																																																							
R元	863人	863人	618人	71.6%																																																																																																																																							
R2	469人	469人	209人	44.6%																																																																																																																																							
R3	643人	643人	246人	38.3%																																																																																																																																							
R4	430人	430人	171人	39.8%																																																																																																																																							
R5	744人	744人	294人	39.5%																																																																																																																																							
旧萩ものしり博士検定博士課程・萩検定中級																																																																																																																																											
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率																																																																																																																																							
H29	27人	24人	8人	33.3%																																																																																																																																							
H30	37人	33人	6人	18.2%																																																																																																																																							
R元	183人	169人	140人	82.8%																																																																																																																																							
R2	86人	77人	47人	61.0%																																																																																																																																							
R3	67人	61人	43人	70.5%																																																																																																																																							
R4	51人	48人	35人	72.9%																																																																																																																																							
R5	43人	39人	33人	84.6%																																																																																																																																							
萩検定上級																																																																																																																																											
年度	申込者数	受検者数	合格者数	合格率																																																																																																																																							
R2	83人	80人	30人	37.5%																																																																																																																																							
R3	54人	48人	16人	33.3%																																																																																																																																							
R4	55人	51人	10人	19.6%																																																																																																																																							
R5	47人	46人	12人	26.1%																																																																																																																																							
子どもものしり博士 (市内各小学校で受検)																																																																																																																																											
H29	368人																																																																																																																																										
H30	355人																																																																																																																																										
R元	361人																																																																																																																																										
R2	コロナのため中止																																																																																																																																										
R3	549人																																																																																																																																										
R4	278人																																																																																																																																										
R5	264人																																																																																																																																										



子どもものしり博士検定
 用テキスト(改訂版)
 「萩ものしりブック」

評価軸③-7

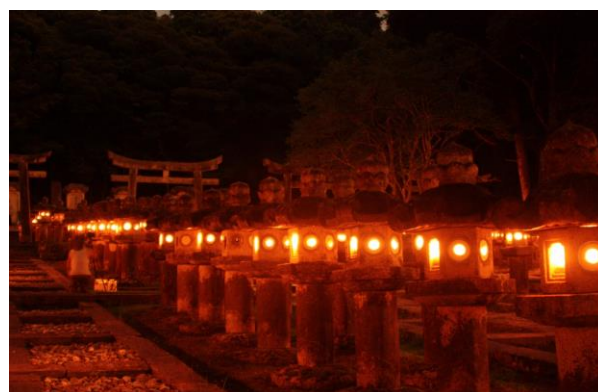
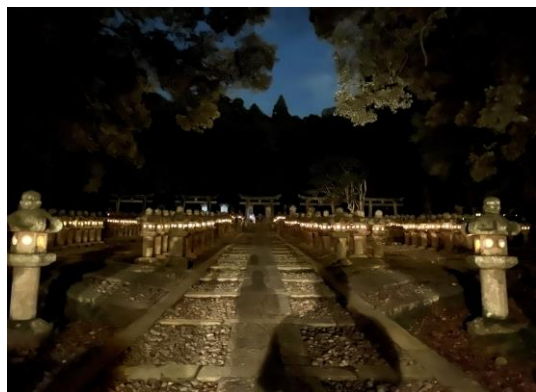
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
萩・万灯会		現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	昭和42年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩・万灯会は、萩藩主毛利家の菩提寺である大照院と東光寺（いずれも重要文化財）で開催される。萩藩主とその一族を弔うための伝統行事であり、本事業の開催によって萩市の歴史的風致を広く発信している。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
◆大照院＜迎え火＞ 開催日時 令和5年8月13日（日） 19時30分～21時30分 ◆東光寺＜送り火＞ 開催日時 令和5年8月15日（火） 19時30分～22時 入込数（迎え火・送り火）6,500人 毛利氏の菩提を弔うため、石燈籠（大照院、約600基、東光寺、約500基）に入れられたろうそくの火が、幻想的な世界を作り出した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	コロナウイルス感染拡大防止策、施設の維持・管理が課題。新たな活用方法等により維持・管理方法の検討が必要。		
状況を示す写真や資料等			

「大照院」万灯会の様子



「東光寺」万灯会の様子



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
萩・大茶会支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成9年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩焼とともに歴史ある萩の茶の湯文化を紹介するイベント。史跡萩城跡を中心として開催する。萩市の歴史的風致を活用し、萩市の歴史と文化を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	令和5年5月3日(水・祝)、4日(木・祝)10時～15時／献茶式9時30分～		
入込数	1,143人		
(薄茶席)			
遠州流萩支部【萩城跡指月公園内 花江茶亭】、裏千家淡交会【萩市民館】			
小堀遠州流萩支部【萩・明倫学舎】			
(生け花展)			
池坊萩支部【萩城跡指月公園内 梨羽家茶室、旧厚狭毛利家萩屋敷長屋】			
(琴、尺八の演奏)			
箏好会・孔友会【萩城跡指月公園内】			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		担い手の確保が課題であり、外部人材などの活用も検討していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			

「萩・大茶会」の様子



【イベントチラシ】

萩・大茶会

萩観光キャンペーン「GO TO 萩」

5月3日(水・祝)・4日(木・祝)

午前10時～午後3時・雨天決行(3日午前9時30分～献茶式)

会場：遠州流萩支部、小堀遠州流萩支部、池坊萩支部、萩市民館、裏千家淡交会、萩・明倫学舎(有償館)

内容：生け花展(池坊萩支部)、琴・尺八の演奏(箏好会・孔友会)

料金：大人300円～250円、高齢者200円～180円、小学生・中学生100円～80円

問い合わせ先：萩市観光課(平日のみ) 0838-25-3139

萩市観光協会 0838-25-1750

萩市観光協会HP: <https://www.hagishi.com/>

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目			現在の状況
萩ものがたり出版支援事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩にまつわる歴史、自然、民俗、芸術などの萩の物語(ストーリー)を、読み易いブックレット形式のシリーズとして出版、定期的に刊行する(年間4冊程度発行)。貴重な萩の情報を書籍出版することにより、萩市の歴史的風致を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年4月発行 ・萩ものがたり77号「木戸孝允 ー近代国家への志ー」 ・萩ものがたり78号「吉田松陰と女性たち 上巻 ー杉家の人びとを中心に」 令和5年10月発行 ・萩ものがたり79号「吉田松陰と女性たち 下巻 ー女子教育を中心にー」 ・萩ものがたり80号「萩再発見 ー語り継ぎたい歴史と民俗ー」 平成16年度からの累計発行数80巻			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		購読者増のため、インターネット通販などによる対応の検討が必要。	
状況を示す写真や資料等			



令和5年4月発行

- ・萩ものがたり77号
「木戸孝允 ー近代国家への志ー」
(長崎大学准教授 田口由香 著)
- ・萩ものがたり78号
「吉田松陰と女性たち 上巻 ー杉家の人びとを中心に」
(京都大学名誉教授 海原徹 著)



令和5年10月発行

- ・萩ものがたり79号
「吉田松陰と女性たち 下巻 ー女子教育を中心にー」
(京都大学名誉教授 海原徹 著)
- ・萩ものがたり80号
「萩再発見 ー語り継ぎたい歴史と民俗ー」
(萩博物館前館長 清水満幸 著)

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		
		評価対象年度
項目		令和5年度 現在の状況
萩焼まつり支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成3年度～	
支援事業名	萩市単独事業	
計画に記載している内容	本事業は、日本を代表する工芸品である萩焼を広く紹介するため、市内の窯元や販売店が一堂に集結して行う即売会である。萩焼作家の直接指導によるろくろ体験や特産品の販売も行う。本事業の開催で、萩焼が広く知られることになり、萩市の歴史的風致の情報発信を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和5年度の萩焼まつりは、「萩のまち全体が会場の実店舗めぐり」と「オンライン販売」の2本立てで開催された。 ※例年の会場である萩市民体育館での開催は、今年度も中止となった。		
内 容 ・実店舗販売 5月1日(月)～5日(金・祝) 協賛店58店舗 ・萩市民館小ホール 5月1日(月)～5日(金・祝) 出店者18店舗 ・萩・明倫学舎 5月1日(月)～5日(金・祝) 出店者9店舗 ・オンライン販売 5月1日(日)～31日(水)		
・5月1日(月)～5日(金・祝)まで萩・明倫学舎内多目的復元教室に「萩焼まつりコンシェルジュ」を配置し会場の案内を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	萩の春のイベントとして定着しており、リピーターも見られるが、入客数や客単価向上に繋げるため新しい企画等を考案する必要がある。コロナウイルス感染拡大防止策。	
状況を示す写真や資料等		
「萩焼まつり」会場の様子  実店舗販売  萩・明倫学舎会場  萩市民館会場		

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
語り部活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～	
支援事業名	萩市単独事業	
計画に記載している内容	萩市の歴史的風致を構成する豊かな歴史、文化、自然等につつまれる物語(ストーリー)を「語り部」が文化財施設などで観光客等に語るにより、萩市の歴史や文化を広く全国発信する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
【萩の語り部歴史講座①】 開催日時 令和6年3月17日(日) 開催場所 渡辺蕎蔵旧宅 語り部 山根和人「参勤交代と長州」 中野悦子「桂太郎・生い立ち」 末永光正「近代京都の生みの親」 【萩の語り部歴史講座②】 開催日時 令和6年3月24日(日) 開催場所 平安古かいまがり交流館 語り部 清水洋介「幕末維新～剣志考察 ～長州藩桂小五郎と新撰組斉藤一～」 山根千鶴子「師・松陰の志を実現した品川弥二郎の生き方」		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	体験観光のメニューの一つとして、観光客へのPRも必要。	
状況を示す写真や資料等		

○萩の語り部歴史講座の様子



○萩の語り部歴史講座チラシ

お茶とお菓子
付き!!

1講座
約40分
予約不要
参加費
無料
歴史講座

萩の語り部

「国を治める者たるは、自らを治むる者なり」
 徳川家康の言葉に、
 萩の語り部は、
 歴史を語り、
 未来を語る。

3月17日(日)

◆料金 無料(申込不要)

◆ところ 渡辺蕎蔵旧宅

3月24日(日)

◆料金 無料(申込不要)

◆ところ 平安古かいまがり交流館

※お茶とお菓子は数に限りがございます。ご了承下さい。

連絡先 萩市まちじゅう博物館推進課 (0838-25-3290)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～	
支援事業名	文化遺産総合活用推進事業	
計画に記載している内容	萩のまちのおたから(文化遺産)を守り育てながら、誇りをもって次世代に伝えていこうというまちづくりの取り組みである「萩まちじゅう博物館」を一層推進するため、まちじゅうに広がるおたから(文化遺産)の情報発信・普及啓発・活用促進を行う萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業に市民と協働で取り組む。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
実施期間: 令和5年4月から令和6年3月 事業実施箇所: 萩市内全域 事業主体: 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会 事業内容 【事業1】地域の文化遺産情報発信事業 地域の文化遺産に関わる人材の育成について、それぞれの人材の役割や活動イメージを整理し、「見守り人材」の育成を他の団体や他の取り組みと連携する方法を検討・模索した。 地域のおたからを活用した体験プログラム等を実施する団体や事業者、個人が集まる「まちはくミーティング」を継続的に実施し、おたからを活用する人材の横のつながりづくり・チームビルディングを進めた。 萩のまちや萩のおたからの探し方を身に付け、さらにそれを他者に共有するアウトプット方法を学ぶ機会として「はぎびんごクリエイターワークショップ」を実施した。参加者11名を「はぎびんごクリエイター」として認定した。 【事業2】地域の文化遺産普及啓発事業 地域の文化遺産の活用と普及啓発を目的として、先進地の講師の話を聞いて意見を交わす「まちはくトークセッション」を行った。(まちはくミーティングとの連動) 市民への普及啓発を目的として、各地域のおたからを紹介するパネルやおたからマップを展示・配布する「おたから紹介パネル展」を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		地域のおたから(文化遺産)をその地域に住む住人に再認識してもらい、活用していただくことの必要性を理解してもらう努力が必要。
状況を示す写真や資料等		
○調査による地域おたからマップの作成		
【平成25年度】 旧松本村地区、明木地区、佐々並地区、むつみ地 【平成26年度】 堀内・平安古・城下町地区、土原地区、川上地域、福栄地域 【平成27年度】 川島・藍場川地区、笠山・越ヶ浜地区、須佐地域、田万川地域    【平成28年度】 椿地区、大島地区、大井地区、三見地区 【平成29年度】 江向地区、相島地区、浜崎地区 【平成30年度】 見島地区、玉江地区、山田・木間地区 【令和元年度】 田町地区     【令和2年度】 寺町地区 【令和3年度】 鶴江・香川津・新川地区  		

評価軸③-13

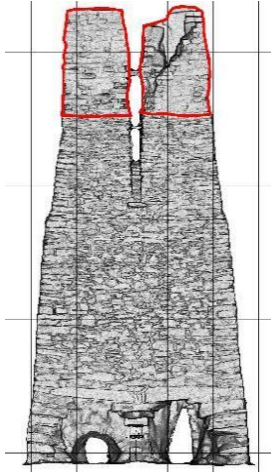
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
地域コミュニティ組織づくり事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成19年度～	
支援事業名	萩市単独事業	
計画に記載している内容	過疎高齢化の進展に伴い、広域的に自治機能を補完し合い、コミュニティの維持及び振興を図る仕組みづくりとして、学校区等を単位とした地域コミュニティ組織づくりを推進し、地域コミュニティの強化を図る。このことにより、各地域に古くから伝わる伝統芸能や伝統行事の継承、自然景観や歴史的景観の保全等が期待でき、もって歴史的風致の維持及び向上を図ることができる。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
過疎化や少子高齢化により、地域の祭礼や草刈等の集落活動が徐々に困難となっている中で、地域の特色を活かした地域づくりを推進するため、「魅力ある地域づくり交付金制度」を創設し、集落や既存の団体の垣根を越えて地域全体で補い合うことができる新たな地域コミュニティづくりを推進している。		
令和5年度交付実績 ・交付地域 6地域(川上、田万川、むつみ、須佐、旭、福栄地域) ・交付金額 29,964千円		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	高齢化が進む中において、各地域で創意工夫を凝らして地域コミュニティ活動の活性化に繋がる取組を実施している。	
状況を示す写真や資料等		
○魅力ある地域づくり交付金の活用例		
 むつみ神楽の伝承 (ふるさとまつりで披露) 【むつみ地域】 むつみふるさとまつり ・むつみ神楽の披露 奥阿武むつみ地図の配付 ・むつみ地域の史跡・名勝など魅力スポットを紹介した「萩・むつみ散策マップ」を改訂 ・地域内の観光拠点や周辺道の駅等で配付 むつみ福祉・文化の集い ・むつみ地域住民による福祉啓発、文化発表等を実施 ・むつみ神楽の披露		
 秋のささなみまちじゅうまつり (伝建地区での観光ガイドの様子) 【旭地域】 明木地区農業文化祭 ・明木地区の住民による文化発表等を開催 ・彦六又十郎伝説の紙芝居及び寸劇披露 秋のささなみまちじゅうまつり ・伝建ガイドクイズラリー等 佐々並どうしんてやろう会 ・伝統文化行事の継承 彦六・又十郎伝保存会 ・彦六又十郎伝の伝承活動 萩・赤間関街道を歩く会		

評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
萩・夏みかんまつり支援事業		□実施済 ■実施中 □未着手	
事業期間	令和元年度～10年度		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	土堀越しにのぞく夏みかんは、萩を代表する景観の一つ。本事業を通じ萩の伝統的建造物が多く残る景観と夏みかんの深い関係を広く情報発信することにより、夏みかんに関わる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	令和5年5月13日(土)・14日(日) 10時～16時		
入込数	3,360人		
内容	●オープニングセレモニー ●ステージイベント ●夏みかん製品等の販売 ●夏みかん収穫体験 ●夏みかんクイズラリー & ガラポン抽選会 ●萩八景遊覧船 無料乗船体験 など		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	萩を代表する、特産品である夏みかん及び夏みかんに関わる独自の風景などのPRとして、効果的なイベントとなっている。スムーズな会場への誘導対策が課題。		
状況を示す写真や資料等			
「萩・夏みかんまつり」会場内の様子  イベントチラシ 			

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
萩反射炉保存修理事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成22年度～令和16年度		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩反射炉は前回の保存修理工事から35年が経過し、煙突本体煉瓦部の劣化が著しい状態であるため、当該箇所の保存修理を行い歴史的景観の保全を図ることにより、明治維新に関わる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
萩反射炉の劣化が進行した塔体煉瓦部及び煉瓦目地の補修方法について、建築学・工学が専門の整備委員への事前ヒアリング及び整備委員会を開催し、各委員からの指導・助言を受けながら、令和2年度に合意を得た煉瓦部補修の基本方針に基づき、煉瓦部の補修目地の材料試験及び組成体試験を実施した。また、令和5年度は12月末から足場台を設置し、破損状況などについて詳細に調査し、1つ1つの煉瓦についてカルテ(記録)を作成した。 現地見学会:3月2日(土) 25名参加			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	在来の技術を結集して築造された萩反射炉に使用した煉瓦は、全国的に見ても類例に乏しく、専門家の中でも補修方法が確立されていない。萩反射炉整備委員会の各委員、内閣官房及び文化庁等と協議を重ねながら、合意形成を図っているため、保存修理方法の決定に時間を要している。補修煉瓦・補修目地については、当初材の強度・吸水性を重視し、可逆性のある補修方法に留意しながら保存修理に向けた準備を進めている。		
状況を示す写真や資料等			
 【萩反射炉 現況写真】  【萩反射炉 立面図】  【萩反射炉 足場台の設置】  【萩反射炉 破損状況調査】			

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
恵美須ヶ鼻造船所跡保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成27年度～令和15年度

支援事業名 市内遺跡発掘調査等事業

計画に記載している内容 恵美須ヶ鼻造船所跡は、幕末に萩藩が洋式軍艦を建造した遺跡である。この遺跡の調査研究・保存整備を行うことで、その歴史的価値が向上し、多くの人々に情報発信することにより、明治維新に関わる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

確認調査

調査箇所・面積:トレンチ1(15㎡)、トレンチ2(15㎡)、トレンチ3(45㎡)、合計75㎡

調査内容:トレンチ1 造船場進水口の南側掘方と護岸石垣の確認、トレンチ2 造船場の底面の確認

トレンチ3 造船場の船首側の範囲確認

令和5年度はこれまでの発掘調査の成果を取りまとめ、遺構の保存、活用を行うための根拠となる報告書を300部作成した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐計画どおり進捗している
☒計画どおり進捗していない

令和元年度から令和3年度確認調査により、Ⅰ地区からⅢ地区すべての基本層序と、昭和期と江戸期、江戸以前の海岸線の変遷を確認することができた。令和4年度は庚申丸造船場の規模を確定するための確認調査を実施し、令和5年度は報告書を作成した。今後は、この報告書を元に整備基本計画を作成し、史跡の整備や来訪者に分かりやすく遺跡の価値を知っていただくためのガイダンス整備を予定。

状況を示す写真や資料等



令和4年度 史跡恵美須ヶ鼻造船所跡 発掘調査実施箇所図

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成30年度～令和10年度		
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業、萩市単独事業		
計画に記載している内容	国選定重要伝統的建造物群保存地区における伝統的建造物や歴史的景観との保全が図られ、祭礼等城下の町内(まちうち)における歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・国選定重要伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物等の修理6件 民間が所有する土塀、石垣及び主屋等の保存修理、修景を実施 ・堀内鍵曲り草刈り業務			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		緊急度等を勘案し計画的に保存修理工事を実施し、歴史的まちなみを保存する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			

土塀修理(平安古伝建地区)



修理前



修理後

倒壊した門修理(堀内伝建地区)



修理前



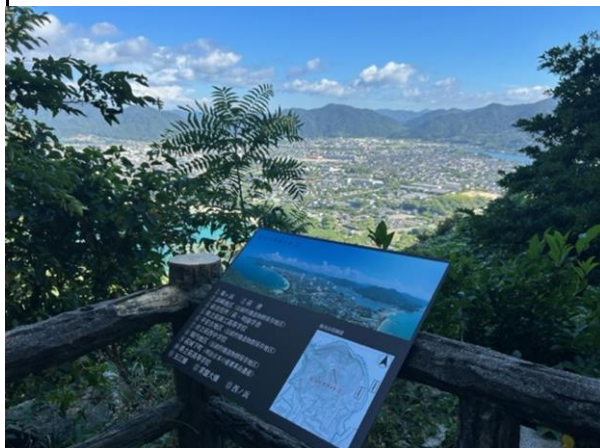
修理後

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
萩城跡保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成23年度～令和15年度	
支援事業名	萩市単独事業	
計画に記載している内容	史跡萩城跡を構成している重要な石垣の保存修理、城内の整備を行うことにより、花江茶亭などの伝統的建造物との歴史的景観の向上に繋がり、茶道にみる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
登山者に快適に楽しく指月山の登山をしていただけるように、山頂のビュースポットに3か所説明板を設置。登山道中に山頂までの距離と所要時間を記載した案内板を2か所設置した。また、指月山からの眺望を良好にするため、山頂の樹木の枝払いを行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	将来的には、東門跡、西門跡、紙矢倉跡、台所門跡の石垣の修理。旧福原家萩屋敷の復元整備を実施する。	
状況を示す写真や資料等		

山頂ビュースポット説明板



山頂までの距離と所要時間を記載した案内板



評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財保護修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	良好な町並みの景観の保全と歴史的建造物等の適正な維持管理が促進され、祭礼等城下の町内(まちうち)における歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財の修理等については、定期的に各文化財を巡視するとともに、文化財保護指導員や観光ガイドと協力し情報収集に努め、維持補修等を適切に実施しつつ、優先順位を付け計画的に修理事業に取り組んでいる。 令和5年度は、6件の保護修理を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		維持管理を行っている文化財施設が多数にわたり、保護修理に必要な予算の確保が十分ではないため、定期的な巡視を行うことにより、初期段階での補修に努めている。また、優先順位を決め、計画的に修繕事業を進めている。	

状況を示す写真や資料等

旧二宮家長屋土台敷居修繕

施工前



施工後



旧湯川家屋敷外壁修繕

施工前



施工後



評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
弘法寺堀内線他無電柱化事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和元年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	世界文化遺産の構成資産、「萩城下町」の要素のひとつである、「御成道」等について、道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、無電柱化を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度に無電柱化の概略検討業務を実施し、既設の地下埋設物や道路、建物等の状況を確認し、技術的に無電柱化が可能かどうかの検討を行い、概略の計画を作成した。また、各電線管理者との協議を行い、自治体管路方式での整備について合意の形成を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		自治体管路方式で整備予定であるが、補助メニューを模索中である。また国指定史跡のエリアであり、令和3年度に、史跡の有無や地下埋設物の正確な位置を確認するため試掘を実施した結果、遺構が確認されたため、文化庁へ報告し、事業を進めるにあたって文化庁との協議を継続中である。	
状況を示す写真や資料等			
事業イメージ 現状 無電柱化後			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目	現在の状況	
①文化財の修理(整備を含む) ②文化財の保存 ③文化財の周辺環境の保全 ④埋蔵文化財の調査	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財の修理については、それを構成する部材細部に特に注意し、破損が進んで部材を大きく取り替えることがないように所有者が日常的な手入れを怠らないよう定期的な清掃・点検や関係機関への連絡等の管理体制を確立する。保存管理計画を策定している文化財については、基本方針等に従って適正な保存管理を行っており、今後も計画に基づき保存管理を進めていく。保存管理計画を定めていない指定文化財については、文化財保護法等に基づき、現状変更及び保存に影響を及ぼす行為に対して、個別案件ごとに本質的価値を保全するために許可制による行為の規制を行っている。文化財周辺の環境保全については、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市都市計画の用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定や歴史的景観保存地区等の緩衝地帯を設け、周辺環境の保存に努める。埋蔵文化財の包蔵地に関しては常に現況を把握するとともに、開発等に当たっては事前に協議を行うよう指導し、できる限り包蔵地を回避するなどの措置を講じ保護に努める。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 文化財の修理・保存については、文化財保護指導員と協力し、定期的に各地域の文化財を巡視するとともに維持補修等を適切に行いつつ、長期的な計画に基づき各年度ごとに定めた保存修理事業や発掘調査を実施している。平成30年度からは、平成28・29年度に策定した萩反射炉をはじめとした世界文化遺産に係る「整備基本計画」に基づき、関連する遺跡等について整備を進めている。また、その他の文化財についても、随時、修復に努めるとともに、未指定文化財の調査なども定期的に進めている。 【令和5年度主要事業】 ・萩市文化財保存活用地域計画の策定 地域の歴史や文化財を総合的・一体的に保存・活用することにより、地域の特徴を活かした地域振興及び確実な文化財の継承等につなげるため、住民、民間団体、有識者などで構成する協議会を設置し、令和4年度～6年度にかけて文化財保護法に基づく萩市文化財保存活用地域計画を策定する。(令和6年度計画認定予定)	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	未指定文化財等の総合的な把握及び文化財指定、整備を計画的に行う必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
 【萩市文化財保存活用地域計画協議会】  【萩市文化財保存活用地域計画】		

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
①文化財の普及・啓発 ②文化財の防災・防犯		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	萩市は、文化財を大切に保存・活用し、萩にしかない宝物を次世代に確実に伝えることを宣言した萩まちじゅう博物館条例を平成16年に制定した。「文化財保護強調週間」には、文化財に親しんでもらうことを目的とした文化財の公開や史跡めぐりなどの行事を実施しており、「文化財防火デー」には、消防署、文化財所有者等の協力を得て防火訓練などの文化財防火運動を展開している。また、このような行事のほかに保存修理工事の際は、できる限り現場見学会や住民参加型のイベントを実施し、さらには広報紙等を活用して文化財情報を市民に発信するなど文化財の保存及び活用の普及・啓発を図っている。市所有の文化財施設の大部分については、機械警備を設置し防犯に努めている。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 平成27年7月に萩反射炉をはじめとする萩市の5資産を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録された。様々な事業で広く普及・啓発を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、十分な事業展開を行うことができなかった。しかし、市内の方を対象としたイベント等を工夫を重ねながら行った。その他の文化財については、文化財保護指導員や地域住民と協力し、セミナーや見学会等の機会を捉えて各地域の文化財の普及・啓発に努めている。さらに、未指定文化財の調査などを進めるとともに、まちじゅうに広がる文化遺産の調査・記録・認定の事業を継続し、萩全域での文化遺産の再発見と保全に努めている。 【令和5年度主要事業】 ・文化財の普及・啓発 (1)世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る普及・啓発 - 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る萩の産業遺産群を対象とした絵画募集を実施した。(応募総数 中学生41点 小学生40点) - 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る現地を巡る謎解きウォークラリーを開催した。(令和5年7月～9月) - 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」について学び、次世代のガイドを育成するため萩観光ガイド養成セミナーを実施した。(令和6年2月23日) (2)伝統的建造物群保存地区に係る普及・啓発 ・文化財の維持管理 - 伝統的建造物群保存地区(堀内地区、平安古地区、浜崎、佐々並市)の町内会や保存団体等により、地区内の清掃を年間を通じて実施した。 ・文化財エリアの活用 - 青木周弼旧宅等萩市内の文化財施設などで一斉にアート展示を行う「はぎアート回遊ウィーク」を実施した(令和5年11月～12月) ・文化財の防災 (1)文化財の防火訓練 - 文化財防火デーに合わせ、萩博物館において消防署、地元消防団、文化財所有者、地域住民の参加により防火訓練を行った。(令和6年1月21日)	
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	世界文化遺産登録後、来訪者が増加したことに伴い、保護の観点から定期的なモニタリング等に基づく各構成資産の適切な管理と保存が必要である。	
状況を示す写真や資料等		
 文化財の普及・啓発 【世界文化遺産の構成資産】絵画展  文化財の普及・啓発 【世界文化遺産の構成資産】 萩の世界遺産周遊 謎解きウォークラリー2023 令和5年7月22日～9月18日(延べ応募者数492名)  文化財エリアの活用 【市内文化財施設】はぎ×アート 令和5年11月3日(金)～12月3日(日)  文化財の防災 防火訓練 令和6年1月21日(日)(参加者60人)		

※()は集客数

萩市一25

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
		現在の状況
①文化財施設等の活用		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容 市内全域には国指定文化財、県指定文化財及び市指定文化財として名勝及び天然記念物を除く総数が167件にのぼり、そのほとんどは歴史観光を基軸とする萩観光の資源であることから、標識や解説板などを整備し、市民をはじめ観光客に一般公開している。特に、内部を公開している文化財については、関連する史料の展示や年中無休のボランティアガイドによる案内、解説を行うとともに、四季を通して催し物を開催している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
文化財の活用については、NPO萩観光ガイド協会や各まちづくり団体、実行委員会等と連携し、史跡や文化財建造物・歴史的風致形成建造物の一般公開を進めている。令和5年度は、感染防止対策を実施しながら、一般公開や利活用を実施した。 主な事業等 【令和5年度】 萩城跡等ライトアップ、着物ウィークin萩、萩・竹灯路物語、萩城下の古き雑たち、萩・椿まつりなど		
進捗状況 ※計画年度との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	コロナウイルス感染拡大防止策を行い、安全に楽しめるイベントの構築	

令和5年度 文化財施設等活用イベント



文化財施設ライトアップ
 【萩城跡(史跡)】
 通年:日没～22:00
 萩城跡、萩駅舎等のライトアップイベント



着物ウィーク
 【萩城城下町(史跡)ほか】
 令和5年10月1日(日)～9日(月・祝)
 和の装いで、江戸時代の趣を残す萩の町並みを楽しんでいただくイベント
 (2,910人)



萩・竹灯路物語
 【萩城城下町(史跡)ほか】
 令和5年10月6日(金)～8日(日)
 竹灯籠の灯りで、城下町を照らし夜の町並みの魅力をPRするイベント (3,510人)



萩城下の古き雑たち
 【菊屋家住宅(重要文化財)、口羽家住宅(重要文化財)ほか13施設】
 令和6年2月3日(土)～4月3日(水)
 萩市民が大切にしてきた雛人形を市内の文化財施設に飾りまち歩きを楽しんでいただくイベント
 (40,521人)



萩・椿まつり
 【笠山虎ヶ崎椿群生林(天然記念物)】
 令和6年2月10日(土)～3月17日(日)
 椿の花の季節に、日本でも屈指の椿群生林を楽しんでいただくイベント
 (33,882人)



文化財施設を活用した朗唱教室等
 【萩・明倫学舎】
 国登録有形文化財(萩・明倫学舎【本館】)を活用した朗唱教室等を定期的に開催

※()は集客数

評価軸⑤

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	令和5年度
年月日		掲載紙等	
【計画等に関連する記事】			
萩市が観光案内所 明倫学舎のバス停そばに		R5.4.2	山口新聞
成長や息災願い流しびな 萩の藍場川		R5.4.4	山口新聞
幕末～明治 海外渡航の「偉人」紹介 萩博物館で		R5.4.9	山口新聞
世界遺産 恵美須ヶ鼻造船所跡 オランダ式ドック確認		R5.4.15	読売新聞
「大茶会」3流派が抹茶の接待		R5.4.27	山口新聞
萩焼58店舗が2万点 来月1日からまつり		R5.4.28	西日本新聞
「萩焼まつり」始まる 割引き・特典付きで販売		R5.5.2	毎日新聞
夏ミカンの花城下町に香る 萩		R5.5.10	毎日新聞
萩・夏みかんまつり収穫に笑顔		R5.5.14	山口新聞
住める駅舎で 萩にお試し移住 1週間7千円 窓から列車の往来も		R5.5.26	朝日新聞
松陰に関わった女性と木戸紹介 萩ものがたり最新刊		R5.6.4	山口新聞
300年の伝統 勇壮に「おしくらごう」萩で和船競漕		R5.6.5	山口新聞
萩駅に「長州ファイブ」資料展示 写真や絵図など30点を駅舎に常設		R5.6.8	朝日新聞
萩で「江戸の役者絵展」		R5.6.24	読売新聞
「須佐男命いか」萩で直売市開催		R5.7.1	読売新聞
カブトムシに触ろう 萩・むつみ昆虫王国15日オープン		R5.7.13	山口新聞
萩博物館、古生物テーマに夏期特別展		R5.7.18	山口新聞
木戸孝允の人生一冊に 維新前後を通して紹介「萩ものがたり」出版		R5.7.25	読売新聞
4年ぶり 萩城下町彩る		R5.8.3	読売新聞
長雨で例年に比べ小ぶり ヒマワリ33万本見頃 萩市		R5.8.6	山口新聞
毛利家菩提寺で13・15日万灯会 萩		R5.8.10	毎日新聞
武家屋敷宿に活用 萩古民家再生と城下町活性化		R5.8.23	読売新聞
悲劇のキリシタン ジュリアおたあ予想外の人気		R5.9.1	山口新聞
松陰の「狂」塾生を感化		R5.9.2	読売新聞
明治日本の産業革命遺産 ユネスコ承認でも課題山積		R5.9.19	山口新聞
萩焼まつり来月7～9日 田町商店街など2会場で1万点		R5.9.29	読売新聞
和の装いで城下町散策「着物ウィーク」きょう開幕		R5.10.1	山口新聞
旅人としての松陰紹介 萩で特別展 日記や写真パネル展示		R5.10.17	毎日新聞
県内の空き家12万6800戸 県庁で対策連絡会		R5.10.18	毎日新聞
松陰歴史館 新装 来月から公開		R5.10.28	朝日新聞
長門峡、色づく秋 国の名勝指定100周年		R5.11.3	山口新聞
萩焼用「大道土」苦境 山口の長沢陶土製造販売終了		R5.11.10	山口新聞
あす萩時代まつり 4年ぶりに大名行列		R5.11.11	西日本新聞
若手萩焼き作家5人の作品 27日まで展示販売		R5.11.23	読売新聞
華やく萩の夜 イルミネフェスタ始まる		R5.12.1	山口新聞
松陰神社にも登場「辰」と山田顕義ら描く 今年田万川中担当		R5.12.2	毎日新聞
萩・笠山のツバキ開花宣言 昨年より11日遅く		R5.12.27	山口新聞
質実剛健 江戸中期の門松再現 萩・菊屋家住宅に設置		R5.12.31	山口新聞
萩博物館で企画展 資料60点 人とクジラ、つながり紹介		R6.1.10	山口新聞
超大型「鬼揚子」復活へ 見島郷土会が新しく制作		R6.1.12	山口新聞
シロウオの産卵場づくり始まる 萩・松本川、漁獲量回復目指し		R6.1.17	山口新聞
萩反射炉保存修理の調査中 足場やシートで見づらく		R6.1.18	山口新聞
早春の萩往還楽しく元気に 3月16日にウォーク		R6.1.18	山口新聞
成長願い大空に舞うだだこ 萩見島 新年の風習		R6.1.29	朝日新聞
萩観光シーズン開き 観光振興や安全を祈願		R6.2.5	山口新聞
保存、活用まちと共に歩む 国が選定、修理費など助成		R6.2.5	読売新聞
萩・笠山 ご当地コーヒーいかが 山頂展望台カフェに10日登場		R6.2.6	山口新聞
アート盆栽 力作並ぶ 萩の渡辺蒿蔵旧宅		R6.2.7	山口新聞
萩観光5.9%増382万人 コロナ前水準には遠く		R6.2.26	山口新聞
青空の下シロウオ漁始まる 萩の早春の風物詩		R6.2.29	山口新聞
萩八景遊覧船運航開始 安全祈願祭で無事故誓う		R6.3.2	山口新聞
ツバキ群生林 再生の花 萩・笠山 伐採後に初めて開く		R6.3.11	山口新聞
企画展 再発見・萩の「まち」 きょう萩博物館で開幕		R6.3.16	毎日新聞
3部門、参加チーム募る 6月に萩市で和船大競漕		R6.3.28	山口新聞
進捗状況 ※計画年次との対応		実施にあたっての課題(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし		各事業の報道を行ってもらうために、各メディアに対する細かな情報提供や萩らしい特色ある事業の実施が重要である。	

評価軸⑥

その他(効果等)

評価対象年度

令和5年度

項目

萩市歴史的風致維持向上計画(全体)

計画に記載
している内容

萩市は、平成21年1月19日に第1期計画となる「萩市歴史的風致維持向上計画」の認定を受け、歴史的風致の維持向上を図るため、歴史的建造物等の保存・修理を計画的に行ってきた。
歴史的に重要な文化財が数多く残存する萩市において、この豊かな萩市固有の歴史的風致を次世代に伝え、引き継いでいくため「歴史まちづくり法」第5条第1項に基づき、「萩市歴史的風致維持向上計画(第2期)」を策定した。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

萩市歴史的風致維持向上計画に基づき、一元化した実施体制を構築するとともに市民団体と協働により計画を推進している。
具体的には、歴史的風致の維持及び向上に資する各事業を進めたことにより、一定程度、観光振興並びに地域経済の活性化への効果があった。
令和5年度の主要イベントは、感染対策を行いながら、ほぼ例年通り開催された。また、観光施設の公開も引き続き行った。

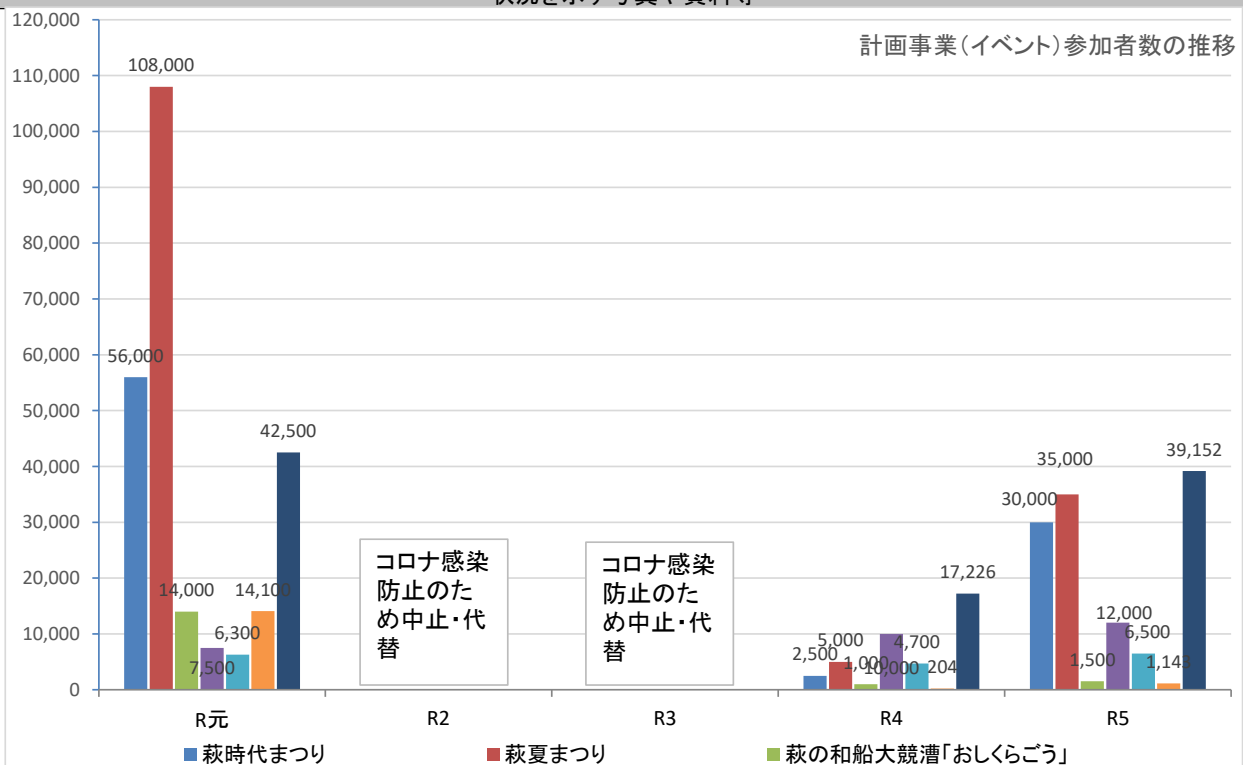
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐ 計画の進捗に影響あり
☒ 計画の進捗に影響なし

古民家等の活用を積極的に推進し、歴史的風致の維持・向上を図っていく。

状況を示す写真や資料等



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和5年度
評価軸③-20	
コメントが出された会議等の名称: 萩市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和6年3月25日	
(コメントの概要)	
協議会議事 (1) 萩市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について (2) 萩市歴史的風致維持向上計画の中間評価について コメント等 ・歴史的建造物の保存・活用及び周辺環境の保全について、文化財の整備事業等が若干遅れているが、県も把握している。残りの計画期間の中でしっかり進めていってほしい。 ・萩の古民家等の空き家の資源とした交流について、より若い方に萩に魅了を感じてもらい、移住してもらうための仕掛けを考えてもらいたい。 ・杉家の旧宅も世界遺産になっているので、将来的に活用してほしい。萩といえば明治維新が目立ちがちだが、夏みかんの町という事をSNS等でアピールしていくとよいのではないか。 ・コロナ禍の中で、お祭り等の地域の活動が制限されていた。その間に高齢化が進んできており、町のパワーが落ちてきておるようを感じるようになった。市民の活動に対して歴史的風致維持向上という観点から、何らかの形で支援等できるとよいと感じる。藍場川を歴史風致の事業で整備を過去に行った。文化財指定を受けてないところに関しても、計画の中に取り入れて何らかの形で整備できるとよいと感じた。	